清水地区タウンミーティング(要約)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２５年１１月９日（土曜日）

【市長】　皆さんこんにちは。昭和４２年７月３１日生まれ松山大学の隣の清水小学校入学清水小学校卒業の野志でございますので、地元ということになります。今日は休日ですのにおくつろぎの方も多かったと思いますがこのように大勢の方がご参加いただきましてありがとうございます。またこのタウンミーティングの受け入れにご協力をいただきました清水地区まちづくり協議会準備会の会長をはじめ役員の皆様方に心から感謝を申し上げます。さて今日は松山大学さんの教室をお借りさせていただいておりますけど、大学関係者の皆様にも心からお礼を申し上げたいと思います。先日は松山大学の女子駅伝部が全国の３位というすばらしい成績を収められました。嬉しいですね。東京や大阪や京都の大学がやっぱり強い中で地方である松山大学が全国の３位に入ったのはすばらしいことだと思います。さて今日のタウンミーティングですが清水地区で行うのは２回目になります。実は私就任させていただいてからこのタウンミーティング始めさせていただいておりますけども、松山市役所で待っているのではなくて松山市には４１地区あるわけですけれども旧の北条市そして旧の中島町合わせて４１地区あります。その地区ごとに我々が出向かせていただいてやっぱり各地区でお困りの点とか課題もあると思いますのでそういったものを聞かせていただいてそしてすぐさま市政に反映できるものから反映していきたいという思いでこのタウンミーティングをさせていただいております。ガス抜きとかパフォーマンスでやっているのではありません。そういうものだったら多分１巡で終わってたかと思うんですが、私はできるだけ早く市政に反映していきたい。そして市役所と皆さんの距離をもっと近くして行きたいと思っています。そういった思いから２巡目に入らせていただいておりまして、この清水地区のタウンミーティングも２回目になります。今回は前回の清水のタウンミーティングでどういうご意見をいただいたか、そしてどのように松山市が動かせていただいたか、そしてどのような見解を持っているのか、そういうのをお示しさせていただこうと思います。また今日皆さんお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが清水地区ならでは大学生の方も多数ご参加いただいているということでございますので前向きな、また清水をどうやったらいいまちにできるかそういう前向きなお話ができればと思います。９０分になりますのでさすがに肩ひじ張って緊張してると９０分しんどくなりますから、どうぞざっくばらんな前向きな議論ができればと思いますので今日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【男性】　よろしくお願いします。先ほど市長がおっしゃっていたように、清水小学校からここ松山大学、愛媛大学さんなどいろいろ大学もありますが、まちづくりとその学校とのつながりについてですが、僕はタウンミーティングでいえば堀江地区に当たるんですが、今回この清水地区に来させていただきました。堀江地区には小学校と中学校ぐらいしかなくて、でもここには大学も高校もあります。それで本当は小学校から中学校ぐらいの生徒さん児童さんが高校を出たら就職しようとか、僕はもうお父さんもお母さんも大学出たからとりあえず大学には行こうとか、そういう考えの子もいっぱいいると思うんですが、いっぺん大学に来てその大学生と話をしてみたらその意見も変わってみたり、もっと専門的な勉強をしてみたいなとか、やっぱり大学は合わないから就職するほうがいいかもなとかいろいろ考えは変わると思うんですね。そういうのを何かできないかなと思ってこの場で発言させていただきました。

【市長】　この松山の特徴はほかの市の方からすごくうらやましがられるんですが４年制大学があるのが松山のまず強みですね。ほんとありがたいことだと思うんですけど、ほかの市のことを考えるとどこの市でも４年制大学があるかっていったらないですよね。そして松山には愛媛大学、松山大学そして東雲女子大学、聖カタリナ大学、４年制大学が４つもある。この４年制大学の学生さんの数で多分２万人弱だったと思います。そして教職員の方々もいらっしゃるので、専門的に研究している方々がいらっしゃる。それぞれの大学で強みがある。まちづくりの視点で大事なのは、「よそ者、若者、ばか者」って言うんですね。ばか者はほんとにばかっていう意味じゃなくて今までは考えてなかったような突飛な発想、よそ者、大学には県外また市外から入って来られる方いらっしゃいますけれども、そういう外からの視点、若者動く力もありますからそういう「よそ者、若者、ばか者」がすごくまちづくりには大事なことと言われます。まさに大学生は参加してもらえればなと我々松山市側は思っています。それで具体的にはどういうものがあるかは市民部長からお願いします。

【市民部長】　市民部の吉野と申します。よろしくお願いいたします。一番大学生に見て思うのは前向きなフレッシュな新しい視点だと思います。松山市はちょうどまちづくり協議会といいまして住民主体のまちづくりの実現を目指して、まちづくり協議会を立ち上げるのを支援しております。これは地区の色んな団体とか組織がある、そこのネットワークでつないで住民自治組織をつくって、それで住民の皆さんが主体となって行政と協働しながら地域の力をまとめあげていく組織なんですけれども、それで色んな課題を皆さんで解決していくと。そういう組織があります。ちょうど清水地区でも７月２６日にまちづくり協議会の準備会が立ち上がっています。そういうところに新しい考え方として若者の力を入れていただく。それでそこに参加していただいて皆さんとまちづくりに取り組んでいただくことを期待したいと思います。例えば清水公民館などでは小学校の児童を対象とした本の読み聞かせ大会などで大学生がボランティアで参加していただいたり、それからもちつき大会や成人式典などで勝山中学校生がボランティアとして参加していただいたりしていますので、そういうところでも大学生と小中学生の縦の交流もできるかと考えておりますし、例えばある地区のまちづくり協議会では地区の福祉マップづくりなどで地域住民とかＮＰＯとか地元企業とともに大学生がかかわった事業がありました。大学生も小学校から大学生までの縦のつながりとかそのまちづくり協議会に入って地元の地域の人たちとみんなで協働して参加をしていただいたらいいんじゃないかと思います。よろしくお願いいたします。

【市長】　まちづくり協議会について、学生さん多いんで知らない方もいらっしゃると思うんで。平たくわかりやすく言うとさっき松山市には４１地区あるって言いましたよね。各地区の課題や魅力について一番わかっているのは市役所じゃなくて、それぞれの地区に住んでいる人が一番魅力とか課題についてわかっていますよね。市役所が主体になって４１地区のまちづくりやっていったらどこも同じ金太郎飴のような地区ができてしまうばっかり。そうじゃなくて各地元の方々が自分たちの地区の魅力や課題を反映させながらまちづくりしていったらそれぞれのまちはもっといいまちになりますよね。その４１の集合体である松山市はもっと輝くっていうことが言えます。ですので、まちづくり協議会があるんですけれども、いい組織、なんでわざといい組織って言ったかというと、「わしがもうこの地区のまちづくりはするんじゃあ、わしが金使うんじゃあ」みたいな組織ができたらいけないですよね。地区のためにやらないといけないのでいい組織ができたんであれば財源と権限を渡しましょう、お金とその権利をお渡ししましょうっていうのがまちづくり協議会なんですよ。清水地区さんは今まちづくり協議会の準備会は７月の下旬にできたところなので、今そういう組織ができていいまちづくりしていこっていう機運が高まっているところなので、とにかく大学生の方にはさまざま参加してもらったらと思います。もし個々知りたいケースがあったら市役所に電話していただいたら、こういうケースもありますからねってお伝えすることができます。私からもう一つだけつけ加えさせてもらうと、若い方にはぜひとも選挙には行っていただきたいんです。誰に投票してくださいという話じゃなくて、やっぱり若い方々が未来のふるさと、日本、愛媛、松山をつくっていくんです。皆さんの世代に徐々に移っていくんです。我々はいい松山を残すためにはどうしたらいいか、後手踏まないためにはどうしたらいいか、今何をすべきかを考えながら今仕事をさせていただいているんですけれども、若い人の意見が全然反映されないような世の中は、怖いですよ。あなたたちがいざ中心になったときにあれってことになりかねないですよ。だから若い人が選挙に行かないって言われていますけれども、やっぱり意思の反映はちゃんとやっとかないと、これは大変なことになると思います。ちなみに費用でいうと、来年の４月に松山市議会議員選挙が予定されておりますけれども、松山市議会の選挙ですから松山市を国が助けてくれるわけではない。県が助けてくれるわけではない。松山市の単独の費用でやらないといけないんですけれども、松山市議会議員選挙は１億円強のお金がかかります。そして私、松山市長選挙で皆さんのご支持いただいて今の立場いただいてますけれども、松山市長選挙も１億円強のお金がかかっていますので、それだけのお金使っているわけですからしっかりと学生さんには若者の方にも選挙には行っていただきたいと思っております。以上です。

【女性】　先ほどの意見と似てるんですけど学校が多いっていうことで、学校の世代間を超えた世代間で交流しあえる機会とか仕組みをもっと増やしていただければいいかなと思いました。

【市民部長】　市民部の吉野です。どうぞよろしくお願いいたします。世代間を超えるということになりますと先ほどと一部だぶりますが、近ごろは生活スタイルの変化とか人それぞれの考え方がいろいろ多様化しまして、地域のコミュニティ活動への関心が薄くなって、それから町内会とか自治会への加入率も減少傾向にあります。ただ高齢者の見守りとか青少年の健全育成、それとかごみ出しのマナーとか地域の連帯がなければ解決できない課題、問題がいろいろ多いんじゃないかと思います。先ほど申し上げましたまちづくり協議会とかそういう地域活動に参加する中で、地域の色んな団体と交流する機会をつくってその地域の課題を共有して住みやすいまちになるのはどうしたらいいかを自分たちで、若者のフレッシュな感性でつくりあげていただければいいんじゃないかと思います。そういうことで繰り返しになりますが、まずは身近な地域活動、例えばまちづくり協議会ということになるんですけれども、そういうところでできる範囲で参加していただいたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【市長】　４年制大学の数にして四つ、短期大学の数にして三つですかね。専門学校の数にしておよそ２０あるのが松山の強みですから、多いに参加していただきたいと思います。ちなみに愛媛大学さん、松山大学さん、聖カタリナ大学さん松山東雲女子大学さんの４つの大学で構成しているボランティアネットワークの「４－Ｒｉｎｇｓ（フォーリングス）」もありますので、そういったまた組織をつくっていただいて、動いていただけるのもみんな若い方フェイスブックとかツイッターとかいろいろコミュニケーションツール持ってるでしょ。それでまたつながっていただいて動いていただいたらと思っています。

【男性】　清水地区の町内連合会の会長しております。実はまちづくりのことがありましたけれども、現在清水でまちづくりをやろうと準備会ができとります。今ここの立地条件にしたら今市長さん言われましたように中学校、高校、大学とそれで看護学校まであるんですね。それはほかの地区にないので、ここに特色のある清水地区にしようということで、実は愛大へ行きまして担当の先生に市の職員と一緒に実はこういうことなので、清水を活力のあるようにするには若い者の力がいるので、愛大の学生さんに何か私らが声かけたら来てくれましょうかという話をしたんですが、そしたらできることならやってみますと。できない言うたらできないと、できることがこれはできますからうちの学生を使うてくださいということで確約しまして、そんなら次は松大来たんですよ。ここへ。そしたら松大の先生も担当の人もそれはいいことだと。それは一緒にやってあげますということで確約でたので、できたからには清水で立ち上げて皆さんに協力してもらうということでしとんですよ。実は子どもの見守りが愛大の学生が腕章つけて時間があったら校区に立っていて、子どもたちを見守ってくれたり、愛大の人ですかね、清水児童公園で日曜日に巡回したとき遊びよんですね。なんで学生さんがおる、子どももおる、何のことやろか思たら、実は私たちはボランティアで一緒に遊びましょうと１時間子どもたちと遊んどりますいう話を聞いたんですよ。ほしたら私たちも地元におって私は７０過ぎとりますけれどもうれしくて、これからも皆さんの力をもらってそしてすばらしい清水校区にしたいと思っとります。これからもよろしくお願いします。

【市長】　今、結構共働きの方って多いですよね。子どもがやっぱり一人で家で待ってるのはちょっと不安だなとかかわいそうだなみたいなところがあって、せっかくこの清水地区にはお兄さんお姉さん的な存在である大学生とか専門学校の方々いらっしゃるので、そういう方々が子どもたちみましょうかとか勉強みましょうとか遊びみましょうかとか、つながりがある時代のほうが防犯の面でもいいんですよね。昔は井戸端会議で最近なんか空き巣が多いみたいなよ、気をつけないかんねえって地区の防犯力が上がっていく。やっぱりつながりがあったほうがいいので、そこに清水地区の特徴である若い方が参加してもらうと、ものすごくいい清水地区ができると思いますね。皆さんほんとお兄さん的なお姉さん的な子どもたちにとっては存在になりますから皆さんの持ってるよさを、看護専門学校の方々だったら例えば私もこの間、防災士の資格取ったんですけれども人工呼吸とかなかなか皆さんが持ってない知識をお伝えすることもできますよね。心臓マッサージの方法もお伝えすることできますよね。やっぱりそれぞれの特徴を活かしたもの、自分の持ち味をまた清水地区に還元してもらうとより清水地区がいい地区になるんじゃないかなと思います。私も県外の大学に行ってたんですけれども、学生のつながりだけじゃなくて、地元の方と仲よくなると愛媛に帰ってもあのおいちゃんおばちゃん元気にしとるかなとかより深く思い出すんですよ。だから学生だけのつながりじゃなくて地区の方とのつながりをつくるとまたいいんじゃないかな、自分の学生時代も思い出深いものになるんじゃないかなと思っています。

【男性】　まちづくり協議会にかかわっております。今、会長さんからお話があったんですけれども愛媛大学、松山大学の方にも協力はいただいておるんですが、この清水地区のまちづくり協議会、清水地区のまちをどんなまちにしたらいいかということで今私たち頭をしぼっておるんですけれども、なんせ古い頭でなかなかいいアイディアが出てきませんので、ぜひ若い人の新しい前向きなご意見、考え方をいただきまして、どういう形にしていくかの参考になるご意見をぜひ出していただきたく募集しておりますので今、仮の事務局公民館にしておりますが、お寄せいただいたら参考にしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【市長】　今、地区の方々から若い人どんどん来てくださいウェルカムですよって言っていただいたんで大分敷居が低くなったんじゃないかなと思います。清水公民館に行ったらまちづくり協議会の方との接点が生まれると思いますのでまた協力していただいたらと思います。

【男性】　私の質問自体は２番目のテーマですけれども、そのまち協に関して校区弾力化の恩恵を受けて五明にご縁をいただいておるんですけれども、その関係で五明のまち協さんとは割と交流があったので、まち協の存在自体は認識はしていたんですけれども、清水地区で立ち上がった情報が全く入っていなかったので、今日初めてここで知って、じゃあ入れてくれよって今思ってるんですけれども、とにかく周知をしていきたいその思いは非常に伝わってくるんですけれど、全くその情報が流れてこないのでちょっと寂しいなと思っているのですが。

【市民部長】　市民部の吉野です。どうぞよろしくお願いいたします。今ホームページが出てるかと思うんですけど、ホームページには当然まちづくり協議会の情報とかタウンミーティングの情報もリアルタイムといいますかすぐに流しております。それに広報にもタウンミーティングをやれば流しますし、まちづくり協議会の関係の情報も流してると思うんですけれども、そういうところで見ていただけない、それでもまだ周知の仕方が足りないということであれば、またもう少し何らかの方法を考えないといけないと思いますので、職員あわせて頭寄せ合って考えてみたいと思います。なにとぞよろしくお願いいたします。

【市長】　確かにおっしゃるとおり今まで市役所のやってることさまざまですけど案外知られてないんです。広報の手段としてさまざまありまして、例えば回覧板も広報の手段ですね。そして支所の壁も広報手段だと思いますし、今松山市役所の外の壁には５本の懸垂幕かけてるんですけれど、市役所の壁も広報手段だと思っています。今ご意見いただきましたので例えば清水地区にまちづくり協議会ができたら清水地区の多くの方が知れるような広報手段とかまた考えさせていただきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

【男性】　広報が遅くなって申しわけないんですけれど、先ほど申しましたように７月の末に準備会が発足いたしまして、そのあと３回ほど一部役員会をもちまして準備会についていろいろ進めておりますが、その中で第１号の広報が１１月初めにできて昨日の町内会連合会で各町内会長さんに配布いたしまして、各町内でそれを回覧していただく形で第１号の広報をしておりますので、また今後準備会の内容いろいろ出てまいりましたらその都度広報紙を通じて住民の皆様に周知していきたいと考えておりますので、今回遅れており誠に申しわけございませんがよろしくお願いいたします。

【市民部長】　先月からまちづくり協議会のフェイスブック始めており、ホームページから入ることができますのでよろしくお願いいたします。

【市長】　今ご意見いただいて我々市役所もまちづくり協議会ができたときにはこういうふうにされたらいいですよっていうサポートが十分だったのかをまた考えたいと思います。ありがとうございました。

【男性】　こんにちは。清水町内からお邪魔しております。初めましてお願いします。交通安全についてのことなんですが、松山市は全国的にみても中心市街地に坂がほとんどなく自転車で移動、生活するのに非常に便利なまちって言われていますし、実際私も自転車で移動するんで非常にすごく実感してるんですけれども、交通安全のことで意見を言わせていただきたいんですけど、世の中には権利を主張するのならまず義務を果たせっていう言葉がありますけど、割と交通ルールを守らない自転車が非常に多くて、さっきの前回の質問の９番とか７番とか１０番に関連した内容なんですが、私自主的なボランティアで無灯火の夜の自転車が非常に気になって危険性が高いんで、ライトつけましょうとか夜ちょっと移動するときとかかねて、すれ違った自転車にお声かけさせていただいてるんですけれども、この会場の中でももしかして無灯火で走られとって僕にお声かけされた方がいらっしゃるかもわからないんですが、とにかく自転車を利用する上でのマナーが二人乗りもありますし傘差し運転もありますし、メールとかスマートフォン見ながら運転してる人もいますし、二人乗りとかメールとかそういうのは一方がまだ見えるんでいいんですけれど、交差点とか見通しの悪いところは別なんですけれども、夜の無灯火は暗闇から急に出てくると昨日もぶつかりそうになったんですけれども、歩道で向こうから来る無灯火の２０歳ぐらいの女の子と。ですから、もっと責任感のある運転してほしいんですけど、市とか警察でもっと厳しく取り締まっていただく、罰則を科していただく方法はないもんでしょうか。私がライトつけましょうって言よったのにうるせえとか反発してくる、さすがに女性の方はほとんどいませんが男でそういう人がいるんです。２０代の方でも５０代６０代の方でもそんな人がいますが、そういうときは１１０番通報して警察呼んで中入ってもらって指導してもらうんですけれども夜間の無灯火は５万円以下の罰金とか罰則がちゃんと決まっておるわけですからきちっとしてもらって、例えば最低でも無灯火の自転車に優先的に職務質問、警察の方ここにいらっしゃらないかもわかりませんがしていただくとか。何かそういう取組みをしていただいたら普通に真面目にライトつけてちゃんと左側通行してる人は走りやすいと思うんですけど、いかがなもんでしょうか。

【都市政策課長】　ご意見どうもありがとうございます。おっしゃるとおり特に最近自転車での大きな事故がニュースでも出ております。松山市では前回の回答もありますように自転車の利用について特に法令順守、ルール、マナーをよく知ってもらおうということで小学校や中学校あるいは幼稚園などで自転車のマナーを知ってもらう、実際に体験してもらう教室を開いて取り組んでおります。また、交通安全指導員の方や清水地区は東署が管轄ですけれども警察とも協力して進めておりますし、今後ともいろいろなご意見いただいて東署にもお話させていただいて十分な取り組みを進めていきたいと思います。子どもだけじゃなくてやはり子どもの見本となる大人の方々がルール、マナーを守っていただくことが大事だと思います。

【男性】　今の質問と関連したことで提案ですけども、姫山小学校と清水小学校の通学路、大川沿いにほとんどの小学生がそこを通行しております。大川沿いは自転車の通行も非常に多くて非常に危険な箇所が多いです。そこでこの前から提案しているんですが、自転車と歩行者を分けるように色分けしていただきたいと思ってます。そこは小学生の通学路の部分だけでよろしいんですけども、そういった対応がとれましたらぜひお願いしたい。ルールを守れいうてもなかなか守りきれないものですから、そういった明確に区分けして通行してもらう提案をしたいと思います。

【都市政策課長】　ご意見ありがとうございます。皆様、大川のところはよく御存じだと思いますけれども、大川の南側と北側に道があり北側の護国神社から松大のところはつながってないところがあります。大川は二級河川で愛媛県の所管、管理になります。先ほどの通学路のラインについては持ち帰らせていただいて、どういったことが具体的にできるかを検討させていただきたいと思います。

【市長】　姫山小学校の近くというお話がありましたけども、大川沿いのところはできるところは土地を広げるべく今動いているところです。皆さん今花園町通りの整備のことについて聞かれているかと思いますが、もう思いは一緒でして、実は花園町通りとこの近くにある平和通り広いですよね。なぜ広いかというと戦災復興でできた通りなんですよ。花園町通り、平和通り、そして大手町通りですね。戦災復興でできた道路なのであれだけ広い道路ができています。花園町通り、市駅の伊予鉄高島屋の前ですよね。あそこの通りは今、交通量調査をするともう一車線でも大丈夫だという交通量になってきています。もちろん電車も通るところなので右折車線とかいう配慮はいるんですけども、あそこは電車が複線で走ってて二車線ずつの車道、いちょう並木で知られる緑地帯、副道、アーケード商店街という広い通りでしたので、車の通行量が減っているんだったらもっと歩道を広くして、自転車の方と歩く方が交錯しないまちづくりをしようというので、来年からＮＴＴさんの電柱の地中化もありますので、何遍も地下を掘り起こすのは無駄ですので、できるだけ一度きりということで今、花園町通りを歩く人にもやさしい、自転車の人にもやさしいまちづくりをするべく今動いているところです。高齢化社会を迎えます。高齢化社会を迎えるとどうしても脳梗塞になったりして半身が不随になる方もいらっしゃいます。そういう方がじっと家で閉じこもっておくよりも、やっぱり歩いていただいたほうが治りも早いと言われております。そして健康な方が歩いていただくほうが、病気になるリスクも低くなると言われております。ですので歩くというのはすごく大事なことだと思いますので、また地域のつながりをつくる上でも自転車で自動車で走るよりかは歩いて、自動車も便利でいいですけども、歩いていただいて語らっていただけるというのも歩くことの大事さだと思いますので、今そういうまちづくりを松山市としては目指しておりますので、ご意見も参考にしながら進めていきたいと思います。ありがとうございました。

【男性】　自主防災の関連ですけれども独居老人で災害が起きたときにどこの家庭を気をつけないかんという名簿をつくろうとしておるんですけども、個人情報の関連でつくれんのです。前から気になっておるんですけど、先般テレビで見ますと石井地区でモデル地区にして市が回覧する話を聞いたんで清水でもできんのかなと、これからどういう取り組みをどういう方向で市は考えておられるんかお聞きしたいんですが。

【市長】　はい、わかりました。今日、福祉の担当課長が今日勉強のためにきておりますので、福祉の課長がご説明を申し上げます。今日大学生の方、専門学校の方も来られてて、現状がそういうことがあるのかというところからお話してもらったらと思うんですけども、まず要援護者がいるんだけれども個人情報の観点からなかなか出せないというところぐらいから。

【保健福祉政策課長】　保健福祉政策課の高橋です。よろしくお願いします。今、災害時要援護者の話が出ましたが、松山市でも東日本大震災ですごい被害が出たことを踏まえまして、災害時要援護者対策の見直しをしております。この災害時要援護者については個人情報の関係があるので、松山市の個人情報保護審議会に例えばまちづくり協議会とか町内会に色んな情報を提供してもいいか審議をしていただきました。その結果、付帯条件をクリアすれば情報提供してもよろしいですいうことで、石井地区でモデル的に取り組んでおります。石井地区の取り組みの結果を踏まえまして、ほかの地区でも広げていきたいと考えています。

【市長】　私から補足をさせていただくと、今石井地区っていう松山市で一番大きい５万８千人が住んでいる石井地区をモデル地区にさせていただいて、その取り組みを進めているんですが、例えば一般的に聞いていただきたいんですけども、テレビで偶々取材で映っていたんですが、目の不自由な方がいらっしゃって、どこのご家庭にそういう目の不自由な方がいらっしゃるとか高齢の方がいらっしゃるとか寝たきりの方がいらっしゃる、個人情報なんで私はそういうことは変に漏れたら嫌なのでもう言わんとってくださいっていう方もいらっしゃるんですよね。そういう思いは大事にしないといけない。でも方や大きな災害が起こってしまったときには、助けてあげたいと思っていてもどこにどういう方が住んでるかっていう情報が把握できてなかったら、なかなか助けにも行けないですよね。そういう難しい面があったので石井地区をモデル地区として、ちゃんと個人情報の審議会にかけて法律の専門家の方もいらっしゃるそういう中で条件付きですけれども、そういう個人情報を公開しても構わないことになったので、石井地区をモデル地区にしてやっております。これで石井地区の取り組みがうまくいければモデル地区ですから松山市のもっと多くの地区にも広げていけると思っておりますので、やっぱり自助・共助・公助っていうんですけども災害が起こったときには、自ら助ける自分の力で助けようとするのと、公助、公の力で助けるいうたら消防職員、消防団であったり、そして共助共に助ける近所の人で共に助ける、この共に助けるのをより有効にしようっていうのが今回の取り組みですので、個人情報保護のことがあってすぐにとはいかないんですけども石井地区をモデル地区にさせてもらっていい動きができないかなとやっているところです。

【男性】　先日台湾との直行便、松山から直行便ができたというか、第一段階でまず知事の方、市長の方もいろいろ行かれたと思うんですけど、それで今後松山・台湾の直行便を定期便にしていけるように松山と台湾との交流を今後おそらくやっていくような計画が立てられているんじゃないかなとは思うんですけど、その件に関して大学生で何か助力ができることがないかなっていうのと、もしあるのであればどういうことができるのかとか、もちろん海外との交流にはなるんですど台湾からこちらにきていただければ、その地域の活性というかまちづくりの一環にももちろんなると思うんで、このテーマに関してちょっと発言させていただいたんですけど、大学生がかかわれることが何かあれば知りたいなと思いまして質問させていただきました。

【市長】　はい、わかりました。私がしゃべってばっかりだと変化がつかないので大学の授業みたいに書いたりしましょうか。実は皆さんも台湾との交流についてお聞きになったと思いますが、どこと交流してるかというと台湾の首都が台北市というところがありまして松山の５倍の大きさです。２６０万人の都市が台湾の首都の台北市です。ここに松山区がありまして松山空港がありますし、松山駅もありますし、松山小学校もありますし、そしてこれは不思議なんですけども松山には日本最古の道後温泉がありますが、向こうには台湾最古の北投温泉があるんですよ。台湾の方々はものすごく親日的です。日本大好きでいてくださってます。親日的で味覚も合いますね、温泉好きな方もいらっしゃいますね。この松山・松山、前市長である中村時広現知事がこの交流ができたらいいなと１５年前から思って、そしてさまざま動いてきて私は特に行政だけでやっても、もっと広げるには民間の人の交流が大事だろうということで、温泉同士の締結、道後温泉と北投温泉のいわゆる姉妹温泉のようなつながり、そしてみこしの交流、台湾の方々がおみこし見たいと言われたもんですから、日本の松山の秋祭りみこしぶつけますね。全国でも珍しいあのみこしをぶつけるお祭りですけども、あれを見たいというので松山から初めて国外に出してみこしの鉢合わせ、かきくらべを見せた。二日間で１０万人の方が見られました。その翌年は基金をつくってくださって、そして大人みこしは何遍も持っていけないので子どもみこしを２体つくって台湾にプレゼントをした。これ松山の方々民間の方々が基金つくってくださったんですよ。子どもみこしが２体行ってるんですが、台湾の秋祭りに行ったら台湾の子どもたちがわっしょいわっしょいいうて嬉しそうに子どもみこしかいているんですね。それを見た台湾のお年寄りの方々は日本の祭りじゃあすごい喜ばれてる。そういったことから今年の１０月に台湾の松山空港と愛媛の松山空港の間に飛行機が飛んだんです。難しかったのは台湾の台北、台湾があったら北です。この街中ど真ん中に向こうの松山空港あるんです。日本と同じです。便利なところにあるのが羽田空港で、ちょっと遠いところにあるのが成田空港。そこが国際空港になるんですけども、ちょっと離れた１時間ぐらい行ったところ桃園空港っていう広い飛行場があって１時間ぐらいかかるところにあります。松山～松山で飛行機飛ばさせてくださいって、台湾のいうたらお役人はどこでも頭は固いですね。お願いするんですが、もう桃園でいいじゃないですかと。桃園だったらキャパシティが大きいんで桃園だったら比較的飛ばしやすいかもしれませんよ。でも我々はやっぱり松山～松山で飛ばしていただいたほうが、話題が大きいので松山～松山で飛ばしてくださいってお願いして何とか飛んだ。これにはもう一つ狙いがありまして、今から日本は人口減少社会に入って行きます。松山は第一次産業、第二次産業、第三次産業でいうと第三次産業が一番多いんです。７４パーセントも第三次産業の方がいらっしゃいます。サービスとか商業とか観光業ですね。観光でお客様増やそうと思ったら日本人の方だけ考えとったんではこれから人口減少社会ですから外国の方にきていただくのを考えないといけない。台湾の方ものすごく親日です。東京や大阪や京都には行ったことあるんやけど、次の場所探してるって方多いですね。そういったこともあって松山～松山の飛行機を飛ばすべく動いてきたわけです。これからできるだけ多くの人が行き来できるようにさまざま考えていきたいんですが、ここでようやくご質問にお答えできるんですが、まず大学同士の交流ができたらこれもまたいいんじゃないかなと思います。そういうのもまた考えていきたいと思いますし、組織の話になると時間がかかってしまうと思いますので、皆さんにお願いしたいのはおもてなしです。松山市役所の先ほど申し上げた市役所の外側の懸垂幕には「おもてなし日本一のまち宣言」を出してますけども、これにも意味がありまして松山は今年の９月に滝川クリステルさんが東京オリンピックのレセプションで「お・も・て・な・し」って言いましたけど、うちはその前の３月に言っといてよかったなあと思ったんですが、実はおもてなしは松山の人は絶対できるんですよ。なぜかっていうと四国は八十八カ所のお遍路さんの文化があるところです。四国八十八カ所が四国４県に点在してますけども一番札所が多く集まっているのは松山なんですよ。北条と合併したけん中島と合併したけんようけになったんじゃないんかじゃなくて全部旧の松山市域に８カ寺あるんですね。今バスや車で回ってるお遍路さん多いですけども、昔は皆さん全部自分の足で命がけで歩いてきた。そういう方々を来年四国遍路が開かれて１，２００年になるんですけども１，２００年の昔から命がけのお遍路さんにやさしくおせったいをしてきた。おせったいって何も見返りは求めてないんですよね。無償の愛ですね。それをやってきたのが松山の方々なんです。ですから歴史的にそういうおせったい、おもてなしができるのは松山の人だと思っていますし、それを継続していかなきゃいけない。そういう宝は磨いていかなきゃいけないと思っているんですが、そこで「おもてなし日本一のまち宣言」をさせていただきました。ビジネスの話でいうとビジネスチャンスなんです。観光の方が来られてたら旅の大きなポイントは人との出会いです。建物は全国色んなところにあるんですから。それプラスアルファするのは人との出会いです。旅で大きなのは人との出会い、人の印象、そこで松山の印象がよかったならば、松山印象よかったなあ今度友達と行ってみようか、今度家族で行ってみようか、それとか今度松山２泊してみようか、３泊してみようか、２倍３倍の経済効果があるわけです。皆さんは松山の地域経済が悪なったらええと思ってる人はたぶんここには誰もいないと思います。松山地域経済よくするためにもおもてなしはすごく大事なことなので、今年の３月に「おもてなし日本一のまち宣言」をさせていただいたんですが、誰でもできることです。迷ってる人がおったらどこかお探しですか。写真を撮りたそうな人がおったら私がお写ししましょうか。そうやって声かけていただけるだけでおもてなしです。坊っちゃん列車見かけたら手を振るのもこれもおもてなしだと思います。みんなができることですので、おもてなしに努めていただければなと思います。

【男性】　清水地区の社会福祉協議会です。この清水地区もですが活性化いろいろ聞いたんですけど大街道から湊町にかけて昔はボンネットバスが通りよったですよね。御存じだと思いますが、そして今は松山市から委託された方が自転車がこちらにのけなさい、あちらにのけなさいということで立っとりますよね。あれはやはり商店街の活性化というたら自転車を置いても店に入ってくれんということで店の人は悩んでおるわけなんですよね、商店街の人は。ほやから自転車を１カ所に置いて歩いて行けいうたらなかなか行かんのですよね。ちょうど店の前の上を支えとる大きな電話のボックスの横にずっととめられとるんですよ。そこにとめてでも松山市をそういうふうにしていったら店も潤うんじゃなかろかと。よそからきた人も自転車を買ってとめるところがない状態なので昔はバスまで通りよったんですから自転車とめて、そういう自転車を整理する人がおったほうがいけんというんじゃなしにいいんじゃなかろかと私は思うんですがどうでしょうか。

【都市政策課長】　都市政策課の松本と申します。現在大街道の商店街の中につきましては、自転車を置かないようにということで指導をさせていただいております。松山市は銀天街・大街道も含めて平坦なところですから非常に自転車の利用者は多いです。例えばお店の前にずっと、あるいは二番町・三番町にずっと自転車が置かれた場合、歩く人あるいは買い物の方にとってどうかというのも一つございます。おっしゃられるように商店街の人にとってすぐ前に置いて便利だというご意見も確かにありますが、そのために自転車を今規制している中で松山市としても大街道に面したところに駐輪場を設けております。また最近大きな駐輪場としましては三越さんの南西のところに「お城下パーキング」ができました。こちらには自転車が１２４台、原付・バイクが７５台置けるようになっております。自転車については１２時間で１００円と割安な料金でさせていただいておりまして、松山市としましては景観も含めて現在の自転車の規制はさせていただけたらと考えております。

【男性】　市長のお話にもあった選挙の話なんですけども最近若者の選挙離れが問題になっていると思います。選挙に対して関心がない、選挙の仕方がわからないなどという人が少なくないと思います。恥ずかしながら僕もその一人でその対策として選挙権のある大学生はもちろん、これから先選挙に参加することになる高校生・中学生・小学生に向けて毎年選挙前に１回選挙の説明会的なものを開いてくださればなあと思ってます。以上です。

【市民部長】　市民部の吉野です。どうぞよろしくお願いいたします。選挙につきましては私も選挙管理委員会に昔、籍を置いたことがあるんですけれども、選挙のときのＰＲしか若者の目には触れないかもわかりませんですね。それで今以上に選挙の啓発ですけれども、特に高校生・中学生までも含めた若者にどうしていくかは選挙管理委員会にも伝えまして、もっと前向きに定期的にするとか検討できないかということを相談しますが、選挙管理委員会でもフェイスブックを始めております。それでまちづくり協議会と同じところから入れますのでホームページの一番最初の右の真ん中あたり、「公式ＳＮＳ」を開くと４つほどフェイスブックが出てきます。ここに選挙管理委員会もありますので、よろしくお願いしたいと思います。

【市長】　そうですね、確かに選挙の前に選挙ってどんなものですかという説明はあまりしてないですね。いいご意見をいただいたと思います。先ほどのホームページの出ますかね。こんなことをやっているんですね。松山大学で行われる行政学の授業時間中に平成２５年７月２１日執行予定の参院議員選挙の投票呼びかけを行います。合わせて松山大学内で今回新たに開設する期日前投票所の利用及び松山市選挙管理委員会フェイスブックの周知活動を行います。松山大学の教室でっていう形ですね。おかげ様で松山大学に投票所を設けさせていただいて結構好評だったので続けていきたいなと思っています。ただ中には全部の大学でやってくださいみたいな声もあるんですけれどもそうなると人の面と大学さんにご協力いただかないといけないのと、その箱とか持っていかないといけないので、できる限りやりたいと思っているんですけど、その辺の調整もしながらやっていきたいと思っております。いいご意見をいただきました。ありがとうございました。

【男性】　今、道路水はけがすごく悪いですが、道路にははけ口があるんですけど、はけ口どうし全部つないでもらったら水はけがよくなると思うんですけど、ちょっと集中豪雨が増えておりますんで、ごみの網のところに葉っぱとかナイロン袋があったら詰まってしまって水が流れないんですよ。あふれてしもて道路幅しか水が流れないんで１０センチぐらいですかね、それで流れよんですがあれをつないでもらって網をつないでもらったら水はけがよくなるからいいと思うんですけど。

【都市政策課長】　都市政策課の松本と申します。後ほど具体的な場所を教えていただいて。

【男性】　市内全域です。

【都市政策課長】　市内全域。清水だけではなくて市内広い範囲でということですね。都市整備で道路の建設あるいは維持管理をしております。下水道部もありますけれどもできるだけ排水がよくなるように努めておりますが、最近のゲリラ豪雨とかああいう場合にはなかなかはけない場合もございます。具体的にこういうところがということがまたありましたら、市の道路管理課までご連絡いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

【市長】　道路で危険な場所ですとか気になる箇所とかございましたら地図も持ってきておりますので、担当の松本課長まで言っていただいたら、道路の件ですとか気になる点、地図に指し示していただいたらと思います。また水はけのことで思い出したんですが、ちょっと強い雨が降りますと愛媛大学と日赤病院の間が水が溜まりやすくなってるんですけども、構造的な問題がありましてなかなか難しかったんですけども、今度東中学校また東雲小学校の改築の話が出ておりますけれども、東雲小学校の改築に伴いまして下に雨水を溜める施設をつくりまして愛媛大学と日赤の間に水が溜まるのを防ぐ形で工事を検討しています。

【女性】　先ほどのフェイスブックの話に関係してるんですけど今月の日本経済新聞の四国経済面にうろ覚えで申しわけないんですけど、地区か市もフェイスブックを始めたという記事が載っていました。それでもっと先ほども言った「だんだん松山」とかのフェイスブックを大学生とかに広めるためにはホームページとか大学の一つの授業とかだけじゃなくてゼミ単位でポスターとかパンフレットを配ったりするともっと認知度が高まると思うんですけどその辺はどうなのかなと思って質問しました。

【都市ブランド戦略課長】　都市ブランド戦略課長の矢野でございます。今おっしゃっていただきましたように私ども「だんだん松山」のフェイスブックを所管しておりまして、例えば夏場には俳句甲子園が大街道で開催されますよとか、それから今度１１月２３日、２４日には愛媛県内で最大の産業まつりが開催されますけれども、そういったことをお知らせするのにこのフェイスブックにいろいろなイベントなどのお知らせをしています。ですので、そういったものを興味を持って見ていただくのは非常にありがたいと思ってます。先ほどご提案をいただきましたポスターとかチラシといったものでもっと興味を持っていただくような工夫をしてはどうかというご提案でございますけども、いいご提案だと思います。ただチラシにしてもパンフレットにしても経費がかかってまいりますので、そういった面も含めて一番効果的な方法で大学の皆さんにもお知らせができるような方法を改めて考えてみたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【男性】　護国神社の前を流れる大川の両岸についてお願いをしたらと思います。右岸につきましては現在松大のグラウンドから下流は姫原、潮見とずっと通学路といいますか遊歩道といいますか整備されて、随分の方が自転車で通ったり、また朝晩の散歩で通っとるわけですが、私のお願いしたいのは松大グラウンドから護国神社の間の右岸道路に遊歩道をつけていただいたらと思います。これは先ほども通学路の話で出ましたけれども、県の管轄で市は即答は無理かと思いますけれども、長い目で見ましたら護国神社からそれまでずっとつながれば随分安心して通れますし、ここはご承知のように左岸道路は道幅が狭くて車が多いんです。というのが山越から本町フジから上へ行くと信号があったり遠回りがあったりするので時間がかかるもんで、この道路を利用する人が随分多いんです。それとこの地区は学生さんが多いですから自転車も多いです。そんなことで川沿いを歩くにしても危険と隣り合わせという感じを受けます。よってこの右岸道路は県の二級河川ということで私素人なりに考えて、昔はかなりの堤防があったんじゃないかと思います。ところが現在どこまでが堤防でどこまでが屋敷かわからない現状です。現在なら昔のことも知ってる方も多数おられると思いますし、先ほども言いましたように県との関係もあって早急にというわけにも行きますまいけれども、時間をかけてでも今なら県と松山市は非常に仲がいい、今までに無い関係がいいんじゃないかなと私は感じておりますので、ひとつ市長さんのお力でぜひ遊歩道をつくっていただけたらと思います。よろしくお願いします。

【都市政策課長】　都市政策課の松本と申します。ご指摘のとおり大川の左岸南側は車がよく通ります。右岸北側の通りについては整備ができていないということでございますので、生活道路の拡幅や歩道の整備については道路建設課が所管しております。拡幅するためにはどうしても民地の方のご協力がないとできません。そういったことも含め地元の方の合意形成を図っていただいて、実際に整備ができるかどうかについては県とも協議をさせていただいて持ち帰らせていただいたらと思います。

【女性】　清水小学校と新しくできたほっともっとの間にある歩道橋があるんですけど、その下のところに渡る横断歩道はないんですけど結構自転車とかで渡ってる人が多いのでとても交通量も多くて危険だと思います。でもあそこが通れたらとても便利になると思うのでよかったら横断歩道をつくっていただけたらと思います。

【都市政策課長】　都市政策課の松本です。陸橋の件ですけれども例えば高齢者の方はなかなか陸橋渡りにくいですね。横断歩道をつけると当然車との交差、危険ということもあります。松山市内では最近は歩道橋陸橋はあまりつくってはないんです。横断歩道をつくるとなると警察との協議がありますのでこの場ですぐに回答というわけにはいきませんので持ち帰らせていただきたいんですが、例えば古川の椿小学校のところにも陸橋がありますし、この近くだと味酒小学校のところ陸橋があります。陸橋だったら生徒さんは事故は起こらない安全が確保できるというところもあります。そういったところも含めて検討させていただきたいと思います。

【市長】　道路って難しい面がありまして、色んな利用者の声があるんですよね。行政はその方々の意見に耳を傾けながらじゃあどうするのかを考えなきゃいけないところがあって。例えば清水地区では比較的少ないと思いますが田んぼ畑が多いところに行くと、道があって水路があってってところがありますけども、大体そういうところは車が行き交うには難しいかなっていうところ。水路を蓋してくれたら子どもたちも通学に行きやすくなるんだけど水路に蓋をしてくださいよっていう声は結構あるんですね。水路は大体農業をされる方が使ってることが多くて、農業される方からすると蓋をされるといざ物が水路に詰まった場合に掃除がしにくくなるんでできたら蓋はあんまりしてほしくないのが一般的なご意見ですね。そういう水路を使われる方のご意見がある、もう一つ考えなきゃいけないのは、難しいなと思ったのは中には水路に蓋をすることによって道路が幅広くなって抜け道になって車がスピードを出してしまって、かえって危険度を増してしまうところもあるんですよ。ですので警察とさまざま協議をしながら実際の通行量はどうなのかとか、やっぱり安心安全が一番ですから安全安心にするためにはどうしたらいいのか、またほかのところを通ってもらうことはできないのか、さまざまな意見を統合しながら整備をしてる現状があります。今回もさまざまご意見をいただいたんですが、先ほど矢野課長から経費という話がありました。確かに皆さんからいただいている税金で我々仕事をさせていただいておりますが、今松山市役所では人のお金とは考えないようにしようと、自分のお金だったらどうするという感覚を持ってもらうようにしています。私就任させていただいてから最初にコピー用紙を両面使ってくださいとあえて申し上げました。これで松山市役所色んな部署がありますから１年間で３００万円のお金を生み出すことができました。でも個人情報が漏れるような両面コピーはしてはいけませんからそこは気をつけながらですけども、コスト感覚を持ってほしい、より持ってほしいということで両面コピーをお願いしたところです。今こうやってタウンミーティングさせていただいて皆さんからあれやってほしい、これやってほしい、あれやってほしいって言われるんですが、私も人間ですので皆さんから言われたことをお金があればできるんだけどなあみたいなこともやっぱりあります。でもわかりました、これやりましょう、あれやりましょう、それやりましょうって言えたほうが楽なんですけども、難しいのは行政が何かつくってしまった場合はつくるときの費用とそれをずっと持ち続ける維持管理するお金も考えなきゃいけない。今は国自体が１千兆円の借金を抱えてますから地方に回って来るお金がこれから膨らむのはとても考えにくいです。高度経済成長の時代だったら色んな物を建てられる時代だったと思いますけども、これからは働いてくれる人の数も少なくなることが予想されていますから、本当にさまざま考えて行政やっていかないといけない。将来の子どもや孫にツケを残すことではいけないなと思ってさまざま考えながらやっているところです。といってお金がないから何もしないのではなくてやるべきことはやる、削るべきことは削るということで皆さんの声に耳を傾けさせていきたいということでタウンミーティング重ねております。これからも政治っていう言葉がありますけども誠実に取り組んで誠実に耳を傾けて誠実に取り組ませていただく、誠で治める政治をやっていきたい。そして市役所ですから市民の皆さんの役に立つ所で市役所であり続けたいと思いますので、これからもご意見寄せていただいたらと思います。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。

―　了　―